

塩治

ENYA COMMUNITY CENTER NEWS

電話/0853-21-0248 Fax/0853-21-3837
メールアドレス/enya-cc@local.city.izumo.shimane.jp

コミュニティ センター報

No.200 [2021年3月24日発行]

塩治地区の世帯数と人口

令和3年2月末現在

世帯数	7,125世帯
人口	15,669人
(男)	7,674人
(女)	7,995人

今年一年をふりかえって

塩治自治協会

会長 板倉啓治



この一年を振り返りますと、昨年1月に日本人第一号の感染者が出て以来、瞬く間に全国に蔓延した新型コロナウイルスに振り回された年でした。

当協会においては5月の総会に始まり8月のふれあいまつり、新年会等が取りやめに、また各団体においても9月の体育大会をはじめ、それぞれの様々な事業が中止、縮小を余儀なくされました。これらの事業はすべてコミュニティセンターが掲げる「心と心がつながるまちに」を実現するためのものであるばかりに残念でした。

一方、日常の安全安心につながる見守り活動や交通安全活動については、いつもの通り続けておられ、担当の皆様本当にありがとうございます。

各町内会において、常会ははじめ花見、忘年会、新年会、とんどさんなど恒例の行事を取りやめたとの話を耳にしますと、やむを得ないまでもこれまた残念な思いです。犯罪や災害に強い街を作るためにはこのような行事を通じて隣近所、地域のつながりを強固なものにしてゆくことが最も大事になってくると思うからです。

今は我慢の時です。しかしそのうち皆さんが晴れ晴れと顔を合わせることができるようになったとき、おそらくいままでの絆を改めて心強く感じられることでしょう。その日が一日も早く到来することを願い、地域の皆さまのご無事ご安泰をお祈りいたします。



コミュニティセンター事業の ふりかえり

センター長 加茂 慎一

今年度は、塩治コミュニティセンターも多くの事業を新型コロナウイルス感染拡大予防のために変更・中止としました。

貸館については、夏ごろから貸館依頼が再開はじまりました。秋になると健康づくり、趣味の会、会議はほぼ普段どおりになってきました。現在、料理教室など飲食をとまなう活動の自粛が続いている状況です。利用者の皆様には、積極的に感染予防にご協力いただきましたし、机・椅子など消毒をお手伝いいただき大変助かりました。

また、今年度はコロナ禍が続く中で例年と異なる取組をしてきました。自治協会・島根大学医学部連絡協議会と協力して取り組んだ島根大学医学部学生支援、地域の方にご指導をいただきながらの植栽の手入れ、館内の歴史資料・図書の整理などを行いました。

そして、自主企画事業については、一部のみの実施となりました。部長さんをはじめ各専門部の皆様には、ぎりぎりまで事業を実施する方向で準備をしていただいていたいました。最終的には、出雲市の新型コロナウイルス感染拡大防止の指針、参加者・地域の状況等を勘案して止む無く中止の判断となりました。関係の皆様のご労苦に心から感謝します。

令和三年度も先が見えにくい状況がありますが、安心安全を基としながら地域の皆様のニーズに添えていく塩治コミュニティセンターとなるよう努めていきたいと思えます。ご支援ご協力をいただきありがとうございます。

今号の『えんや物語』

塩冶コミュニティセンター内に神楽のお面が展示してあることはご存知でしょうか。ご存知の方でも、足を止めてゆっくりとご覧になれることはあまりないかもしれませんね。昨年十月には塩冶小学校二年生の来館があり、興味津々にお面を眺めている児童もいました。

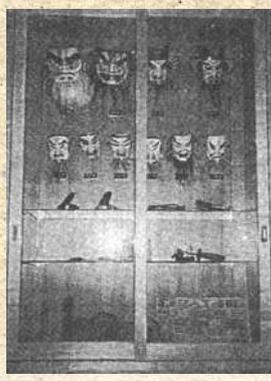
今号では、「塩冶公民館の神楽の面」を掲載します。来館される際には、古くから作られている神楽面を是非一度、ゆっくりとご覧ください。

えんや物語

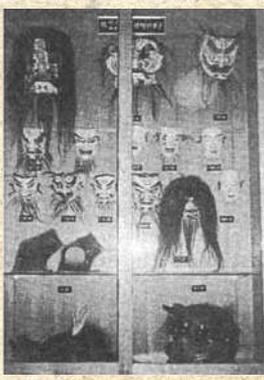
第4号
平成11年3月発行
塩冶公民館文化部
題字 万代順子氏

塩冶公民館の神楽の面

公民館に入りますと正面に宍道政一郎さんの胸像があります。この方は、「大和紡績」の創立者です。その隣に恐ろしい面があります。これが出雲神楽の面です。今から一〇年前（明治二十年頃）作成されたもので、約二十六個位あると思います。色々な踊りがありますが、鬼退治をしてくれる「山の神」「荒神の舞」「大蛇退治」「夜明けの彦張」の舞が喜ばれます。明治時代は殆んど娯楽がありませんので、お祭の夜八時頃より翌朝の夜明けまで見たものです。夜明け頃に出てくる面が夜明け彦張、一番大きな面です。鬼の面に髪がついていますが、これを「しゃぐま」といいます。市内の公民館でこれだけ揃っているのは塩冶公民館だけです。



揚・弓原の青年がこの面と衣裳を箱の中に入れて大八車で付近の村々の祭にまねかれ、花を戴いて夜明けにはほろ酔い気分であったようです。明治末期頃は自動車も自転車もありませんから交通事故の心配もありません。私の父も踊ったと言っています。明治二十三年生まれです。最後にこの神楽が舞われたのは、紀元二六〇〇年記念祭の折であったと思います。



なお、この面を平成元年（一九八九）まで揚の公会堂で保管して戴いた揚・弓原の神楽方、そして無償提出して戴いた関係者に心より感謝申し上げます。又、神楽の修理については、塩冶クラブの浄財により、今は故人となられた吉川近義さん、面師の西神西町の小村隆吉さん等の甚力によるものでした。しゃぐまの髪は馬の毛で、中国産です。

（吉田 純）

退任のごあいさつ

チーフマネジャー 江角 智恵
3月をもちまして、定年を迎え退職いたします。
心豊かに安心して暮らせる町をめざし、力を尽くされているたくさんの方のみなさまの姿に励まされました。
そして、たくさんの方のみなさまに支えていただきました。
心より感謝申し上げます。
塩冶がますます「心と心がつながるまちに」なりますようお願いしております。
ありがとうございました。

マネジャー 曾田 賢一郎
3月末をもちまして退職いたします。
2014年4月から7年間、塩冶コミュニティセンターに勤務し、その間地域の皆様には、様々な面でご支援・ご協力頂き心から感謝申し上げます。
7年間で学び得た事を貴重な経験として、今後の人生の中で生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

異動のごあいさつ

マネジャー 林 公恵
塩冶地区のみなさまには人事異動交流の間、大変お世話になりました。様々な事業を通じての地域のみなさまとのふれあいは私にとって大きな財産となりました。みなさまの健康と塩冶地区の発展を心より願っています。ありがとうございました。
(R3.4.1.付け 出西コミュニティセンターへ異動)

令和3年度「広報いずも」等配達予定日

4月21日(水)・22日(木)	8月25日(水)・26日(木)	12月22日(水)・23日(木)
5月26日(水)・27日(木)	9月21日(火)・22日(水)	1月26日(水)・27日(木)
6月23日(水)・24日(木)	10月20日(水)・21日(木)	2月24日(木)・25日(金)
7月20日(火)・21日(水)	11月24日(水)・25日(木)	3月23日(水)・24日(木)

○「広報いずも」発行日の関係で、お知らせできずに配達日が変更になる場合があります。
○事前に連絡いたしますが、1か月前に1回の配達が増加で2回になることがあります。ご承知おきください。